

## 知 事 指 示 事 項

- この度の伊藤副知事の石川県訪問により、被災地における「応急復旧」は着実に進みつつあるが、被害が甚大であった地域においては、がれきの撤去や被災建物の解体などの課題が依然として山積しており、引き続き持続的な支援の必要性を確認することができた。
- このため、関係部局においては、国・県等の関係機関や派遣職員からの情報収集に努めるとともに、被災地からの要請に対して速やかに対応ができるよう準備の上、万全な体制で臨むこと。
- また、職員派遣のフェーズは「対口支援」の短期から中・長期派遣に移行しており、関係部局においては、派遣職員が被災地に寄り添い、心身ともに健康で業務に当たることができるよう、しっかりとサポートを行うこと。
- 被災地における復興までの道のりは長期に及ぶことが想定されることから、我が県が持つ、東日本大震災からの復興に向けた経験や知識、ノウハウを積極的に提供し、一日も早い暮らしやなりわいの再建に向けて、引き続き県庁一丸となって取り組むこと。